



サーバプール

- [サーバプールの設定, 1 ページ](#)
- [UUID 接尾辞プールの設定, 4 ページ](#)
- [IP プールの設定, 6 ページ](#)

サーバプールの設定

サーバプール

サーバプールは複数のサーバで構成されています。これらのサーバは通常、同じ特性を持っています。これらの特性は、シャーシ内の位置であったり、サーバタイプ、メモリ容量、ローカルストレージ、CPU のタイプ、ローカル ドライブ設定などの属性だったりします。サーバを手動でサーバプールに割り当てることも、サーバプール ポリシーとサーバプール ポリシー資格情報を使用して割り当てを自動化することもできます。

システムが組織を通じて、マルチテナント機能を実装している場合、特定の組織で使用されるサーバプールを 1 つ以上、指定できます。たとえば、CPU を 2 個搭載したサーバをすべて含むプールをマーケティング組織に割り当て、メモリのサイズが 64GB のサーバをすべて、財務組織に割り当てることができます。

サーバプールには、システム内のどのシャーシにあるサーバでも入れることができます。1 つのサーバは複数のサーバプールに属することができます。

サーバプールの作成

手順

- ステップ 1** [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。
- ステップ 2** [Servers] > [Pools] の順に展開します。
- ステップ 3** プールを作成する組織のノードを展開します。
システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。
- ステップ 4** [Server Pools] ノードを右クリックし、[Create Server Pool] を選択します。
- ステップ 5** [Create Server Pool] ウィザードの [Set Name and Description] ページで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Name] フィールド	サーバプールの名前。 この名前には、1 ~ 32 文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および. (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後で、この名前を変更することはできません。
[Description] フィールド	サーバプールのユーザ定義による説明。 256 文字以下で入力します。次を除く任意の文字またはスペースを使用できます。` (アクセント記号)、\ (バックスラッシュ)、^ (キャラット)、" (二重引用符)、= (等号)、> (大なり)、< (小なり)、または' (一重引用符) は使用できません。

- ステップ 6** [Next] をクリックします。
- ステップ 7** [Create Server Pool] ウィザードの [Add Servers] ページで、次の手順を実行します。
- [Available Servers] テーブルで、1 つ以上のサーバを選択します。
 - [>>] ボタンをクリックして、サーバプールにサーバを追加します。
 - 適切なサーバをすべてプールに追加したら、[Finish] をクリックします。

サーバプールの削除

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。
 - ステップ 2 [Servers] > [Pools] > [Organization_Name] の順に展開します。
 - ステップ 3 [Server Pools] ノードを展開します。
 - ステップ 4 削除するプールを右クリックし、[Delete] を選択します。
 - ステップ 5 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
-

サーバプールへのサーバの追加

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。
 - ステップ 2 [Servers] > [Pools] > [Organization_Name] の順に展開します。
 - ステップ 3 1つまたは複数のサーバを追加するプールを右クリックして、[Add Servers to Server Pool] を選択します。
 - ステップ 4 [Add Servers to Server Pool] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
 - a) [Servers] テーブルで、サーバプールに追加するサーバを選択します。
Shift キーまたは Ctrl キーを使用して、複数のエントリを選択できます。
 - b) [>>] ボタンをクリックして、それらのサーバを [Pooled Servers] テーブルに移動し、サーバプールに追加します。
 - c) [OK] をクリックします。
-

サーバプールからのサーバの削除

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。
 - ステップ 2 [Servers] > [Pools] > [Organization_Name] の順に展開します。
 - ステップ 3 1 つまたは複数のサーバを削除するプールを右クリックし、[Add Servers to Server Pool] を選択します。
 - ステップ 4 [Add Servers to Server Pool] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
 - a) [Pooled Servers] テーブルで、サーバプールから削除するサーバを選択します。Shift キーまたは Ctrl キーを使用して、複数のエントリを選択できます。
 - b) [<<] ボタンをクリックして、選択したサーバを [Servers] テーブルに移動し、サーバプールから削除します。
 - c) [OK] をクリックします。
-

UUID 接尾辞プールの設定

UUID 接尾辞プール

UUID 接尾辞プールは、サーバへの割り当てに使用できる SMBIOS UUID の集まりです。UUID の接頭辞を構成する先頭の桁の数字は固定です。残りの桁で構成される UUID 接尾辞は変数です。UUID 接尾辞プールは、競合を避けるため、その特定のプールを使用するサービス プロファイルに関連付けられたサーバごとに、これらの変数値が固有であることを保証します。

サービスプロファイルで UUID 接尾辞プールを使用する場合は、サービスプロファイルに関連付けられたサーバの UUID を手動で設定する必要はありません。

UUID 接尾辞プールの作成

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。
 - ステップ 2 [Servers] > [Pools] の順に展開します。
 - ステップ 3 プールを作成する組織のノードを展開します。
システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。

ステップ 4 [UUID Suffix Pools] を右クリックし、[Create UUID Suffix Pool] を選択します。

ステップ 5 [Create UUID Suffix Pool] ウィザードの [Define Name and Description] ページで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Name] フィールド	<p>UUID プールの名前。</p> <p>この名前には、1 ~ 32 文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および. (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後で、この名前を変更することはできません。</p>
[Description] フィールド	<p>プールのユーザ定義による説明。</p> <p>256 文字以下で入力します。次を除く任意の文字またはスペースを使用できます。` (アクセント記号)、\ (バックスラッシュ)、^ (キャラット)、" (二重引用符)、= (等号)、> (大なり)、< (小なり)、または' (一重引用符) は使用できません。</p>
[Prefix] フィールド	<p>次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Derived] : システムによって接尾辞が作成されます。 • [other] : 任意の接尾辞を指定します。このオプションを選択すると、任意の接尾辞を [XXXXXXXX-XXXX-XXXX] の形式で入力できるテキストフィールドが Cisco UCS Manager GUI に表示されます。
[Assignment Order] フィールド	<p>次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Default] : Cisco UCS Manager はプールからランダム ID を選択します。 • [Sequential] : Cisco UCS Manager はプールから最も小さい使用可能 ID を選択します。

ステップ 6 [Next] をクリックします。

ステップ 7 [Create UUID Suffix Pool] ウィザードの [Add UUID Blocks] ページで、[Add] をクリックします。

ステップ 8 [Create a Block of UUID Suffixes] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[From] フィールド	ブロック内の最初の UUID。

名前	説明
[Size] フィールド	ブロック内の UUID の数。

ステップ 9 [OK] をクリックします。

ステップ 10 [Finish] をクリックして、ウィザードを終了します。

次の作業

UUID 接尾辞プールはサービスプロファイルとテンプレートのうち一方、または両方にインクルードします。

UUID 接尾辞プールの削除

プールを削除した場合、Cisco UCS Manager は、そのプールの vNIC または vHBA に割り当てられたアドレスは再割り当てしません。削除されたプールのすべての割り当て済みブロックは、次のいずれかが起きるまで、割り当てられた vNIC または vHBA に残ります。

- 関連付けられたサービスプロファイルが削除された場合。
- アドレスが割り当てられた vNIC または vHBA が削除された場合。
- vNIC または vHBA が異なるプールに割り当てられた場合。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。

ステップ 2 [Servers] > [Pools] > [Organization_Name] の順に展開します。

ステップ 3 [UUID Suffix Pools] ノードを展開します。

ステップ 4 削除するプールを右クリックし、[Delete] を選択します。

ステップ 5 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

IP プールの設定

IP プール

IP プールは、用途が初期設定されていない IP アドレスの集合です。Cisco UCS Manager で IPv4 または IPv6 アドレス プールを作成して以下を行うことができます。

- サービス プロファイルが関連付けられているサーバのデフォルトの管理 IP プール ext-mgmt の置き換え。Cisco UCS Manager は、サーバ上の Cisco Integrated Management Controller (CIMC) で終端する外部アクセス用に、IP プールの各 IP アドレス ブロックを予約します。サービス プロファイルが関連付けられていない場合は、CIMC 用の ext-mgmt IP プールを使用して IP アドレスを取得する必要があります。
- CIMC 用の管理インバンドまたはアウトオブバンド IP アドレスの置き換え。



(注) Cisco UCS Manager では iSCSI ブート IPv6 プールを作成できません。

Cisco UCS Manager で IPv4 アドレス プールを作成して以下を行うことができます。

- デフォルトの iSCSI ブート IP プール iscsi-initiator-pool の置き換え。Cisco UCS Manager は、指定された IP プールの各 IP アドレス ブロックを予約します。
- 管理 IP アドレスと iSCSI ブート IP アドレス両方の置き換え。



(注) サーバまたはサービス プロファイルのスタティック IP アドレスとして割り当てられている IP アドレスが、IP プールに含まれてはなりません。

IP プールの作成

手順

- ステップ 1** [Navigation] ペインで [LAN] をクリックします。
- ステップ 2** [LAN] タブで、[LAN] > [Pools] > [Organization_Name] の順に展開します。
- ステップ 3** [IP Pools] を右クリックし、[Create IP Pool] を選択します。
- ステップ 4** [Create IP Pool] ウィザードの [Define Name and Description] ページで、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Name] フィールド	IP アドレス プールの名前。 この名前には、1 ~ 32 文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および. (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後で、この名前を変更することはできません。

名前	説明
[Description] フィールド	ユーザ定義による IP アドレス プールの説明。 256 文字以下で入力します。次を除く任意の文字またはスペースを使用できます。` (アクセント記号)、\ (バックスラッシュ)、^ (キャラット)、" (二重引用符)、= (等号)、> (大なり)、< (小なり)、または' (一重引用符) は使用できません。
[Assignment Order] フィールド	次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [Default] : Cisco UCS Manager はプールからランダム ID を選択します。 • [Sequential] : Cisco UCS Manager はプールから最も小さい使用可能 ID を選択します。

ステップ 5 [Next] をクリックします。

ステップ 6 [Create IP Pool] ウィザードの [Add IPv4 Blocks] ページで、[Add] をクリックします。

ステップ 7 [Create a Block of IPv4 Addresses] ダイアログ ボックスで、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[From] フィールド	ブロック内の最初の IPv4 アドレス。
[Size] フィールド	プール内の IP アドレスの数。
[Subnet Mask] フィールド	ブロック内の IPv4 アドレスと関連付けられたサブネット マスク。
[Default Gateway] フィールド	ブロック内の IPv4 アドレスと関連付けられたデフォルト ゲートウェイ。
[Primary DNS] フィールド	IPv4 アドレスのこのブロックがアクセスする必要のあるプライマリ DNS サーバ。
[Secondary DNS] フィールド	IPv4 アドレスのこのブロックがアクセスする必要のあるセカンダリ DNS サーバ。

ステップ 8

ステップ 9 [Next] をクリックします。

ステップ 10 [Create IP Pool] ウィザードの [Add IPv6 Blocks] ページで、[Add] をクリックします。

ステップ 11 [Create a Block of IPv6 Addresses] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[From] フィールド	ブロック内の最初の IPv6 アドレス。
[Size] フィールド	プール内の IP アドレスの数。
Prefix	ブロック内の IPv6 アドレスと関連付けられたネットワーク アドレス プレフィクス。
[Default Gateway] フィールド	ブロック内の IPv6 アドレスと関連付けられたデフォルト ゲートウェイ。
[Primary DNS] フィールド	IPv6 アドレスのこのブロックがアクセスする必要があるプライマリ DNS サーバ。
[Secondary DNS] フィールド	IPv6 アドレスのこのブロックがアクセスする必要があるセカンダリ DNS サーバ。

ステップ 12 [OK] をクリックします。

ステップ 13 [Finish] をクリックして、ウィザードを終了します。

次の作業

IP プールはサービス プロファイルとテンプレートに含めます。

IP プールへのブロックの追加

IP プールに IPv4 または IPv6 のアドレスのブロックを追加できます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [LAN] をクリックします。

ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [Pools] > [Organization_Name] の順に展開します。

ステップ 3 [IP Pools] ノードを展開します。

ステップ 4 目的の IP プールを右クリックし、次のうちの 1 つを選択します。

- [Create Block of IPv4 Addresses]
- [Create Block of IPv6 Addresses]

ステップ 5 適切なダイアログ ボックスのフィールドに入力します。

a) [Create a Block of IPv4 Addresses] ダイアログ ボックスで、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Name] カラム	ブロックに割り当てられた IPv4 アドレスの範囲。
[From] カラム	ブロック内の最初の IPv4 アドレス。
[To] カラム	ブロック内の最後の IPv4 アドレス。
[Subnet] カラム	ブロック内の IPv4 アドレスと関連付けられたサブネットマスク。
[Default Gateway] カラム	ブロック内の IPv4 アドレスと関連付けられたデフォルトゲートウェイ。
[Primary DNS] カラム	IPv4 アドレスのこのブロックがアクセスする必要があるプライマリ DNS サーバ。
[Secondary DNS] カラム	IPv4 アドレスのこのブロックがアクセスする必要があるセカンダリ DNS サーバ。

- b) [Create a Block of IPv6 Addresses] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Name] カラム	ブロックに割り当てられた IPv6 アドレスの範囲。
[From] カラム	ブロック内の最初の IPv6 アドレス。
[To] カラム	ブロック内の最後の IPv6 アドレス。
[Prefix] カラム	ブロック内の IPv6 アドレスと関連付けられたネットワークアドレスプレフィクス。
[Default Gateway] カラム	ブロック内の IPv6 アドレスと関連付けられたデフォルトゲートウェイ。
[Primary DNS] カラム	IPv6 アドレスのこのブロックがアクセスする必要があるプライマリ DNS サーバ。
[Secondary DNS] カラム	IPv6 アドレスのこのブロックがアクセスする必要があるセカンダリ DNS サーバ。

ステップ 6 [OK] をクリックします。

IP プールからのブロックの削除

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [LAN] をクリックします。
 - ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [Pools] > [Root] を展開します。
 - ステップ 3 [IP Pools] ノードを展開します。
 - ステップ 4 IP アドレスのブロックを削除するプールを展開します。
 - ステップ 5 削除する IP アドレス ブロックを右クリックし、[Delete] を選択します。
 - ステップ 6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
-

IP プールの削除

プールを削除した場合、Cisco UCS Manager は、そのプールの vNIC または vHBA に割り当てられたアドレスは再割り当てしません。削除されたプールのすべての割り当て済みブロックは、次のいずれかが起きるまで、割り当てられた vNIC または vHBA に残ります。

- 関連付けられたサービス プロファイルが削除された場合。
- アドレスが割り当てられた vNIC または vHBA が削除された場合。
- vNIC または vHBA が異なるプールに割り当てられた場合。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [LAN] をクリックします。
 - ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [Pools] > [Organization_Name] の順に展開します。
 - ステップ 3 [IP Pools] ノードを展開します。
 - ステップ 4 削除する IP プールを右クリックし、[Delete] を選択します。
(注) デフォルト プールである [ext-mgmt] および [iscsi-initiator-pool] は削除できません。
 - ステップ 5 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
-

